

<研究課題名>

名古屋大学医学部附属病院における不整脈診療・治療の実態調査と予後に関する観察研究

<研究の目的・意義>

不整脈疾患にて診療や治療（カテーテル治療、デバイス治療）を行っている患者さんの治療情報を、データベースに登録して治療状況の把握・分析をすることが本研究の目的です。これらのデータの収集と分析を蓄積していくことによって、現在の当院での不整脈診療、治療の成績や、今後の治療の発展に役立てていくことを目的としています。

<研究方法>

この研究は、当院において不整脈疾患で外来通院中もしくは、入院治療（カテーテル治療、デバイス治療）を行った患者さんについて、その治療内容や情報をデータベースへ登録し、不整脈治療の情報収集と分析を行います。また治療後の経過・予後について、すでにカルテに記載された診察結果や、検査結果、治療内容、転帰などの客観的事実のみを対象として情報収集を実施します。したがって本研究のために新たな検査、治療法が追加されることはなく、これまでと同様に診療、治療は通常通り行われます。また収集したデータ分析はすべて匿名化されますので、個人が特定されるようなことはありません。

<インフォームドコンセントの方法>

この研究は厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守って実施されます。通常の診療や治療から得られた情報の内容のみを使用する研究ですので、患者さん一人ずつの直接のご同意はいただくずに、この掲示等による患者さんへのお知らせをもって、当院にご通院中の患者さんからご同意をいただいたものとして実施されます。

<研究期間>

本研究の倫理委員会実施承認日～ 2022年6月30日まで

<研究機関・研究者>

名古屋大学大学院医学系研究科

1 研究責任者

先端循環器治療学寄附講座准教授 柴田 玲

2 研究分担者

循環器内科学 准教授 因田恭也

先端循環器治療学寄附講座 寄附講座助教 柳澤 哲

循環器内科学 病院助教 森本竜太

<問い合わせ先>

柴田 玲（電話 052-744-2147）

名古屋大学医学部経営企画課（電話 052-744-2479）